



# 学校だより

令和7年2月28日(金)

第856号

さいたま市立日進小学校

TEL: 663-6942

心も体もたくましく成長する子どもたち

校長 野上 正嗣

弥生3月、学校最大の区切りの時季を迎えました。友だちや先生と過ごす日々を大切にしながら、卒業、進学、進級に向け子どもたちや教職員はもとより、保護者の皆様もその準備に心忙しくされていることと存じます。

「節ありて竹強し」という言葉があります。細い幹であるにもかかわらずとても強い竹は、1日に1m近く伸びるとも言われています。そして自分自身を支えるために「節」を作り、雪が積もった時の重みや強風にも折れることなく耐え得ることができます。竹のように目に見える節はありませんが、同じように我々にも節が大切で「節目」となる事柄を経験して成長するのだと思います。学校生活では、学年が変わる3月が大切な節目です。丈夫で多くの節目を作りながら、柔軟で強い心をもった子に育ててほしいものです。

これまで最高学年として、学校行事や委員会活動など学校の中心となって下級生を引っ張ってくれた6年生もあと少しで卒業です。21日(金)の6年生と保護者による「はばたきの会」では、子どもたちが演出した心温まる雰囲気の中、立派に成長した姿を見ることができました。保護者の皆様もたくましく成長した我が子の姿に、感慨無量のことと思います。私も、一つひとつ行事が終わると一步一步卒業の日(別れの日)が近づいている、と感慨深いものがありました。3月24日(月)には「卒業証書授与式」が举行されます。全教職員が心を込め、厳粛で温かい式になるよう精一杯準備をしております。

そして28日(金)には、代表委員会が企画した「6年生を送る会(6送会)」が行われました。1～5年生がお世話になった6年生に対する感謝の気持ちと中学校での活躍を願い、各学年の特徴を生かした歌や呼びかけを披露しました。下級生からの祝福を受け、そのお礼に披露した6年生の発表は、迫力のある演奏と美しい歌声が体育館いっぱいに響き渡るほど見事で、在校生は真剣な表情で聴き入っていました。上級生の立派な演技に憧れて一年一年成長していく子どもたち、日進小の良き伝統としてつながっています。

また、こうした子どもたちの成長は、我々教職員だけで為せるものではありません。ありがとう集会にお招きした防犯ボランティア、交通指導員、図書ボランティアの皆様をはじめ、登下校の見守りや町たんけん等でお世話になった地域の方々、そして学校へ元気に送り出してくださる保護者の皆様の支えがあったからこそ、と心から感謝しております。残すところあとひと月となりましたが、引き続き御支援御協力の程お願いいたします。